

水道の広域連携について

～健全な経営基盤を確立し、地方公共団体の責務として、将来にわたり、安全・安心な水を適切な料金で安定供給できる水道システムを構築する～

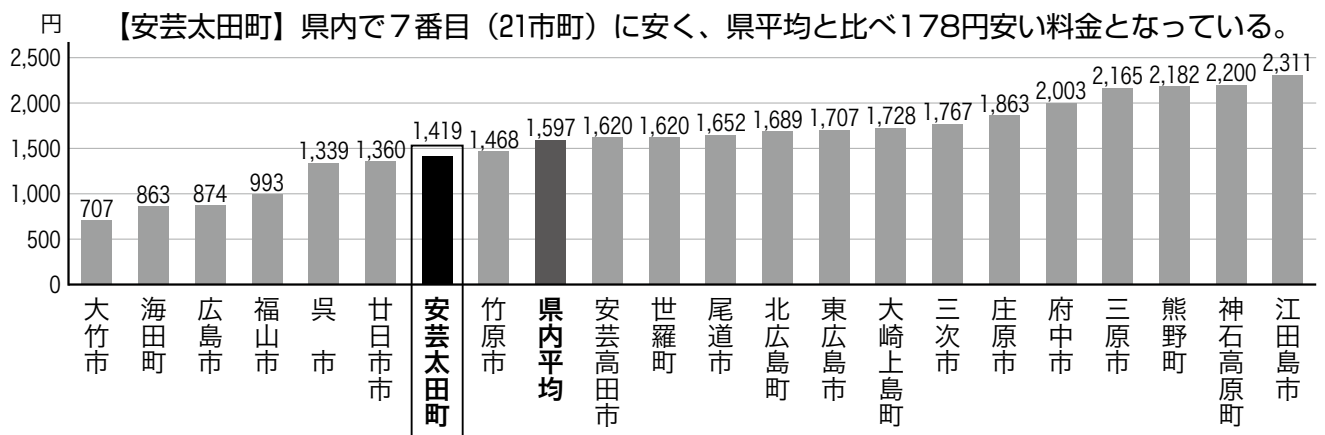
私たちの日常生活や社会経済活動に必要な不可欠なライフラインである水道事業は、現在、市町ごとに住民等に対して水道水の安定的な供給が行われています。

しかし、今後の水道事業は、人口減少等に伴う給水収益の減少、施設の老朽化に伴う更新費用の増加などにより、経営環境の急速な悪化が見込まれ、また、経験豊かな職員の減少や、近年災害が多発する中、施設の強靱化や応急給水・復旧体制の整備などが求められています。

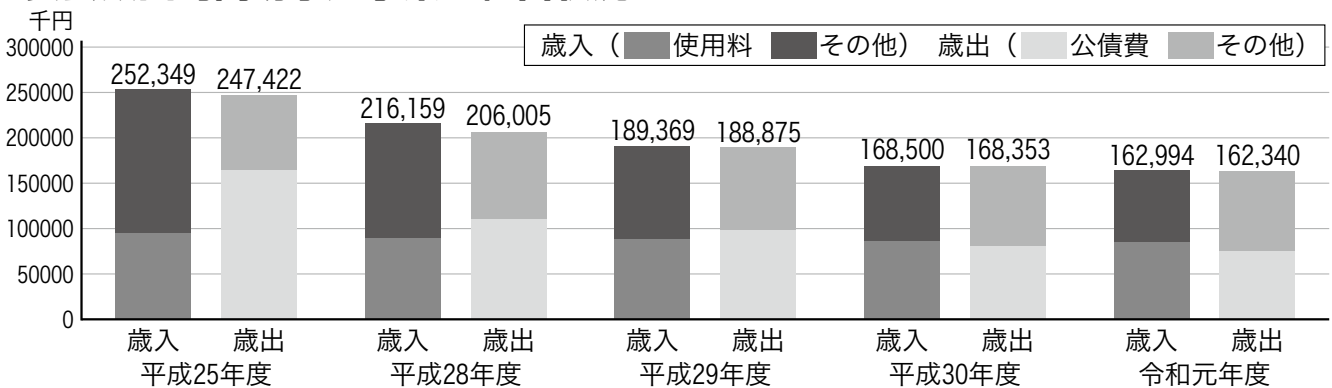
こうした課題に対処するため、市町と県で構成する協議会により議論を重ね、協議会で出されたさまざまな意見を参考に、令和2年6月に県において「広島県水道広域連携推進方針」が策定されました。

安芸太田町においても、令和5年度から事業開始予定の県内の市町で組織する「統合による連携（企業団）」への参画について検討しています。

●市町別水道料金（家庭用）の現状（10m³/月）（平成30年度：広島県の水道の現況）



●安芸太田町簡易水道事業の経営状況（年度別決算額）



- 歳入（収入）の約40%から50%は水道使用者からの使用料で賄われている。給水人口の減少等の影響により、平成25年度に約9,400万円あった使用料は、令和元年度には約8,500万円となっている。
- 歳出（支出）は、平成25年度に約2億4千7百万円であったが、その後、減少傾向にあり、令和元年度は約1億6千2百万円となっている。支出はこれまでの施設整備費の償還（公債費）の割合が多くなっている。
- 今後、施設の老朽化更新に係る費用の増加と使用料収入の減少が懸念される。

「広島県水道広域連携推進方針」は、町ホームページにも掲載しています。

こちらのアドレス、または二次元バーコードからご確認ください。
http://www.akiota.jp/kensetsu/page_00022.html

●問い合わせ先／建設課（上下水道係） ☎28-1963

